

たかさき 絵本フェスティバル 第30回絵本原画展

やっぱい ぶくいんかん 福音館

2024年
1月20日(土) ▶ 1月30日(火)

おかげさまで時をつむぐ会の絵本原画展は30年目を迎えます。今回はその最初期からたくさんの方を育ててくれた福音館書店の絵本原画を展示します。福音館書店の魅力は0歳児から児童、そして大人たちへと、どの年齢にも寄り添う本があること。その基礎を作った松居直さんのことと現在の編集部の姿を会場でご紹介します。

本はともだち

『ぐりとぐら』『だるまちゃんとてんぐちゃん』など往年の福音館書店作品をはじめ、最新の出版作品まで、会場には福音館書店が現在刊行している本約2000タイトルが全て並ぶ予定です！お楽しみに♪



まちなか絵本ぼっくす

たかさき絵本フェスティバル期間中に、時をつむぐ会がセレクトした“絵本ぼっくす”が、高崎駅周辺のお店に設置されます。前売り券・講演会チケットも販売しています(中央図書館除く)。ぜひ街中へお出かけください。

- ☒ Fleur de Cheval Blanc 花のクボタ 高崎駅東口店
- ☒ 中央図書館 ☒ 観音山公園ケルナー広場
- ☒ 観音茶屋 ☒ 観音屋 ☒ HAIR SALON KINARI
- ☒ きのえね ☒ シネマテークたかさき ☒ 山田文庫

JR高崎駅プレイイベント

日時 1月14日(日) 11:00~17:00
場所 JR高崎駅 ラジオ高崎サテライトスタジオ前
イベントの詳細は随時お知らせいたします。

園で！学校で！学童で！部活動で！ 団体予約受け付けます

- 本物の絵を楽しむ図工や美術の一環として
- 物語や言葉を楽しみ国語力を育むために
- 自然科学を考える理科・社会の体験に
*団体(10名以上)料金
おとな500円/子ども300円(年少以上)
*必ず事前予約をお願いいたします

絵本原画展を活用してみませんか？ 子どもたちに心に残る絵本体験を

団体予約・お問い合わせはこちらまで
TEL/FAX 027-352-4613



『母の友』
2023年4月号～
塩川いづみ・表紙絵



『石は元素の案内人』
田中 陵二文・写真
2024年



『やまば山のモッコたち』
富安陽子作/降矢奈々画
2000年



『スーホの白い馬』
大塚 勇三 再話 / 赤羽 末吉 画
1967年 【ビエソグラフ】
協力:ちひろ美術館



『やっぱいおおかみ』
ささきまき作・絵
1977年



『おらんちゃん』
MAYA MAXX 絵・文
2021年



『ぼんだちゃん』
MAYA MAXX 絵・文
2023年



『イワシ むれでいきる さかな』
大片 忠明作
2019年

著者&編集者 ギャラリートーク

- ◆1月20日(土) 11:00～ 松居直さんと「母の友」の話
伊藤康(母の友編集部)
- ◆1月20日(土) 14:00～ 作品作りと「母の友」の話
塩川いづみ(イラストレーター)×伊藤康(母の友編集部)
- ◆1月21日(日) 14:00～ 『イワシ むれで いきる さかな』の話
作者 大片忠明×山形昌也(かがくのとも編集部)
- ◆1月27日(土) 11:00～ 『ぼんだちゃん』と『おらんちゃん』とMAYA MAXXさんの話
谷口高浩(こどものとも第2編集部)
- ◆1月27日(土) 13:00～ 『やっぱいおおかみ』の話
関口展(福音館書店OB)
- ◆1月28日(日) 13:00～ 『石は元素の案内人』
『いろいろ色のはじまり』の話
作者 田中陵二

田中陵二さんは
高崎市出身！



*このほか、各編集部のギャラリートークを予定。公式SNSの最新情報をご確認ください。
*ギャラリートーク・ワークショップは入場料をお支払いいただいた方はどなたでもご参加いただけます。

松居直さん

その① 松居直さんの功績

現在の福音館書店の礎を築いた松居直さんは1926年、京都に生まれました。同志社大学卒業とともに金沢の福音館書店に入社。絵本の出版・編集に従事し、1956年に「こどものとも」を創刊しました。そして、多くの絵本作家を発掘し、世界に日本の絵本を広めました。



その② 福音館書店の9つの編集部

物語絵本や科学絵本、読み物など現在9つの編集部がある福音館書店。それぞれの編集さんはどんな想いで本を作り、読者に届けているのでしょうか。絵本にかける情熱を9つのブースで展示します。

その③ 音でわらべうたの世界を体感

時をつむぐ会の子育て支援で大切にしているわらべうた。今年阿部ヤエさんの『わらべうたで子育て』を音による展示でご紹介します。

『わらべうたで子育て 入門編』 2002年
福音館書店母の友編集部 編 / 阿部 ヤエ 語り / 平野 恵理子 絵



福音館書店のシンボルマーク



このマークは、1972年、早川良雄さんによるデザインで作られたものです。手のモチーフには、大人が子どもに絵本を手渡すという願いが託されています。また、手で子どもを抱いて親子で共に絵本を楽しむ姿や、絵本のおもしろさを手をたたいて遊ぶ姿も想像できます。そして何よりも「手塩にかけて子どもを育てる」という、古くからの子育ての文化を大切にしたいという思いも込められています。

イベントスケジュール

講 講演会(有料) ギャラリートーク 時をつむぐ会ワークショップ

22	23	24	25	26	27	28	29	30
			ギ 14:00 ちいさながくのとも 編集部	ギ 14:00 科学書編集部	ギ 20 時をつむぐ WS オープニング くす箱	ギ 講 21		
							ギ 14:00 童話編集部	

最新情報は
各種SNSで
チェック♪



たかさき絵本フェスティバル

時をつむぐ会公式ホームページもあります
たかさき絵本フェスティバルの情報も順次アップします
こちらからご覧ください▶



時をつむぐ会の名物
オープニングくす箱復活!!
1月20日(土)9:50~

時をつむぐ会ワークショップ

ゆみこ先生と
わらべうたを唄おう
1月20日(土)10:15~

講師 横山由美子
(びよびよの会代表)

詳しくはFacebookで随時
お知らせします



時をつむぐ会は、「絵本と童話 本の家」主催の絵本の勉強会に参加していた本好きの女性たちを中心に1994年に発足しました。私たちは、絵本・児童文学を通して「子どもの健やかな成長」と「地域文化向上・発展」をめざし、様々な取り組みをしています。
「絵本は子どもが会おう最初の文学であり芸術です。くり返し読んでやることで子どもの叡智を養います」を合言葉に、共に学びあい、今後も長く活動を続けたいと願っています。

子育て支援事業 びよびよの会

家庭にいる子ども達にもよい絵本に出会ってほしい。それにはまずお母さんも一緒に読み聞かせを楽しんでもらおうと、1995年より活動しています。子育ての情報が氾濫する中、子どもの成長に何が大切か、お母さんたちと一緒に考えています。親子で触れ合う事を通して家庭での育児を楽しんでもらえるよう、子育てを応援します。

ケルナー広場(観音山公園内)

観音山の中腹にあるケルナー広場は、時をつむぐ会が管理・運営する公園です。この公園には、カラフルでちょっとへんてこな「ケルナー遊具」がいっぱい。子どもたちが自分の限界を知り、挑戦できるケルナー広場で思いっきり体を動かして楽しんでください。